

有限会社 Ueta Labo 完成見学会

今回は、須崎市に CLT を使って建てられた有限会社 Ueta Labo の社屋が令和 3 年 10 月に完成し、令和 3 年 11 月に完成見学会が開催されましたので、紹介します。



Ueta Labo について

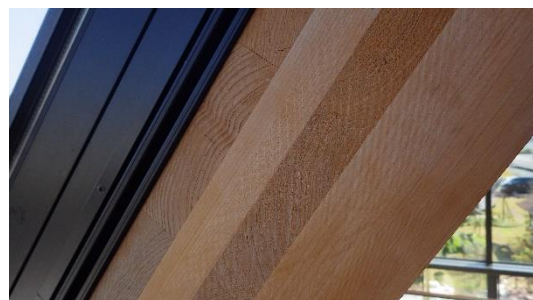
- 地上2階
- 構造:木造(ヒノキ、CLT)
- 延べ床面積約 250m²

そもそも CLT とはなに？

CLT とは、「Cross Laminated Timber」の略称で、日本語では直交集成材と呼ばれ、ひき板(ラミナ)を繊維方向が直交するように接着剤で貼り合わせた木材製品です。

CLT 工法は鉄筋コンクリート造に比べて、コンクリートの養成期間が不要になるため施工期間が短くできるほか、コンクリートや鉄筋よりも軽く、断熱性にも優れているとされています。

この建物には、床と屋根兼壁の部分に使用されています。



CLT を使用した屋根兼壁

Ueta Labo について

有限会社 Ueta Labo は、有用微生物を用いて、あらゆる分野で活躍できる製品を開発・製造しているとのこと。

建物は、1 階には誰もが使えるラウンジや給湯室、シャワー室なども完備されています。

2 階へ続く階段の壁面には、建物が吹き抜けである構造上、音が響きやすいため、木の皮を合わせたモルタルを塗り、吸音材の役割を果たすための工夫も施されていました。2 階には研究室があります。

屋根と壁が一体となり、吹き抜けとなっているこの構造は、風がよく通り、太陽の光が室内を照らし、室内は全体が木材に囲まれた空間で温かみを感じます。



1 階 ラウンジ



2 階 研究室